



2026年10月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ガ ー デ ン
代 表 者 名 代表取締役社長 川 島 賢
(コード番号：274A 東証スタンダード)
問 合 せ 先 専務取締役
コーポレート本部長 小澤 修三
(TEL. 03-5361-8003)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年10月15日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2026年4月14日に開示いたしました2027年2月期の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、当期（2027年2月期）配当予想については変更ありません。

1. 当期の業績予想数値の修正（2026年3月1日～2027年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 損 益	1 株 当 たり 当 期 純 損 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,350	1,410	1,280	840	116.17
今回修正予想（B）	19,450	430	280	10	1.38
増 減 額（B－A）	△900	△980	△1,000	△830	
増 減 率（％）	△4.4%	△69.5%	△78.1%	△98.8%	
（参考）前期実績 （2026年2月期）	17,895	1,301	1,211	625	90.15

2. 修正の理由

当社は、持続的な成長に向け、主力ブランドを中心とした新規出店の加速、「壺角家」と「油そば総本店」のハイブリッド店舗の展開、既存店への来店促進施策等を積極的に推進しております。

売上高につきましては、新規出店を概ね計画どおり進められたこと等により前年同期を上回って推移しているものの、原材料価格等の上昇に対応した価格改定の影響等により、既存店の入客数の回復が当初の想定を下回っていることから、当初予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、既存店の入客数回復を目的とした各種来店促進施策の実施に伴う粗利率の低下に加え、新規出店の加速に伴う開業準備費用、「壺角家」と「油そば総本店」のハイブリッド化に係る費用等、今後の成長に向けた先行費用が当初の想定を上回りました。また、店舗数の増加に伴う人件費その他の販管費も増加しております。

以上の状況を踏まえ、2027年2月期の通期業績予想について、売上高及び各段階利益を修正することといたしました。

なお、足元ではハイブリッド店舗の導入後に既存店売上高の改善が見られるほか、アプリ会員へのアプローチ強化等、既存店の入客数回復に向けた施策を進めております。引き続き、既存店の収益改善と今後の成長に向けた店舗基盤の拡大を両立してまいります。

3. 配当予想に関して

当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を経営の重要課題と認識しております。現在の配当方針（配当性向40%を目安）に基づき検討した結果、当期の業績推移を鑑みつつも、中長期的な成長への自信と株主還元姿勢を明確にするため、期初予想を据え置き、年間配当金は1株当たり90円とする予定です。

※上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上